

「日本の食の安全を考える」

日時：平成24年9月20日(木)～9月21日(金)

会場：東京大学農学部弥生講堂・一条ホール

■プログラム

9月20日(木) ～感染症と食の安全保障・安定確保～

「下痢原性大腸菌」

大西 真(国立感染症研究所細菌第一部長)

「生産現場におけるサルモネラリスク低減」

宮下 隆(キューピー株式会社研究開発本部技術研究所食品安全技術部次長)

「カンピロバクター」

五十君静信(国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部第一室長)

「魚介類とピブリオ感染症：アジアにおける腸炎ピブリオ食中毒とコレラ」

中口義次(京都大学東南アジア研究所人間生態相関研究部門特任准教授)

「植物病害と食の安全ーイネとコメを例として」

土佐幸雄(神戸大学大学院農学研究科生命機能科学専攻教授)

「植物医学が食の安全に果たしうる役割」

山次康幸(東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻特任准教授)

パネルディスカッション「感染症と食の安全について」

パネリスト：大西真氏、宮下隆氏、五十君静信氏、中口義次氏、土佐幸雄氏、山次康幸氏

「食の安全に密着した大学センターの概要と活動(神戸大学・岩手大学・東京大学)」

佐藤繁(岩手大学 農学部 動物医学食品安全教育研究センター長)

大澤朗(神戸大学大学院 農学研究科 食の安全・安心科学センター長)

関崎勉(東京大学大学院 農学生命科学研究科 食の安全研究センター長)

懇親会

9月21日(金) ～物理化学汚染と食品の安全保障・安定確保～

「食品によるダイオキシンリスクの軽減の可能性」

福田伊津子(神戸大学大学院農学研究科食の安全・安心科学センター助教)

「カビ毒の生産阻害による汚染防除」

作田庄平(東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻准教授)

「アレルギー物質」

八村敏志(東京大学大学院農学生命科学研究科食の安全研究センター准教授)

「放射性物質」

福本 学(東北大学加齢医学研究所腫瘍制御研究部門教授)

「残留農薬」

宮川 恒(京都大学大学院農学研究科応用生命科学専攻教授)

「食品中の重金属」

吉村悦郎(東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻教授)

パネルディスカッション「物理化学汚染と食の安全について」

パネリスト：福田伊津子氏、作田庄平氏、八村敏志氏、福本学氏、宮川恒氏、吉村悦郎氏

■定員

250名

■参加費

無料

(懇親会参加の場合は、5,000円を当日受付いたします)

■主催

東京大学大学院農学生命科学研究科食の安全研究センター

神戸大学大学院農学研究科食の安全・安心科学センター

■後援

食品安全委員会(予定)、消費者庁(予定)、厚生労働省(予定)、農林水産省(予定)、

独立行政法人農林水産消費安全技術センター、NPO食の安全と安心を科学する会(順不同)

■お問合せ・参加申込先

メールアドレス shokuhin@frc.a.u-tokyo.ac.jp

参加希望の方は、件名を「フォーラム参加申込」としていただき、メール本文に(1)お名前(ふりがな)、(2)ご所属・部署・役職、(3)E-mailアドレス、(4)参加希望日、(5)懇親会の参加・不参加を明記の上、メールにてお申込ください。

なお、定員の都合によりご参加いただけない場合がございます。ご了承ください。

食
を取り巻く問題について、
最前線でご活躍
されている専門家に
ご講演いただきます